

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

車いすバスケットボール体験



第4学年

特色

本校では4年生が総合的な学習の時間に鶴ヶ島市社会福祉協議会の協力を得て、「障害のある方に対する理解」「2020年大会に向けての意識の向上」を目標に福祉体験をしている。今年度は「東京2020オリンピック・パラリンピックに係る小中学校向け協議体験等開催支援」の開催支援校に決定していただき、車いすバスケットボールのチームの方々の指導の下に体験をした。

児童の感想

ポートボールを学習した後だったので、簡単にボールを投げたりシュートをしたりできると思っていたのに難しくて本当にすごいなと思った。

握手をしたときに手の厚みがあってびっくりした。車いすをこぐことであんなにも手はかたく厚くなるのだ、と思った。

成果

ハンディキャップがあってもやり方を考え、頑張っていくことで目標が達成できることを実感として理解し、障害のある方の生き方に対する理解が深まった。

車いすバスケットボールを体験し、他のパラリンピックの競技にも関心が広がった。